

(別添4)

【弥富市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領に「個別最適な学びと共同的な学びの実現」が示されています。

弥富市第2期総合計画の基本目標の中で「主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程を質的に改善させ、確かな学力・道徳心上の育成、社会に参画する能力を図る」ことを掲げており、ICT環境を整備し学びの道具としてICTを活用することにより、「生きる力」の育成を重視した教育活動の推進を目指します。

2. GIGA第1期の総括

弥富市では、コロナ化以前より、電子黒板やプロジェクターの配備を行ってきました。

以前からPC教室に配備していた端末と令和2年度にGIGA I期で購入した端末をあわせ1人1台の端末の整備がされました。

令和4年度にはICT支援員を各校に月2回以上配置し、教職員や児童生徒の学習活動のサポートを行ってきました。それに応じて、授業の発表の際には、端末を利用して行われるようになりました。

ICT環境の整備を進めてきましたが、1人1台端末を授業と家庭学習の連動まで生かすことができておらず、家庭学習での利用については個人差が大きくなっています。

3. 1人1台端末の利活用方策

これらの現状を踏まえ、以下のとおり、1人1台端末の効果的な利活用推進に向けて取り組んでまいります。

(1) 1人1台端末の積極的活用

職員に対し研修を実施するとともに、端末の積極的な活用を促進します。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が1人1台端末を活用し、「自分で調べ、自分の考えをまとめ、発表・表現する授業」「お互いに学び合いのある授業」を展開することができるよう、具体的な活用事例など、積極的な情報提供を行います。

(3) 学びの保障

日常での端末をより効果的に活用するとともに、不登校や特別支援、日本語指導など様々な困難を抱える児童生徒に対して、学習支援ツール等のICTを活用することで学びの場を提供し、学習機会を確保します。